

前期基本計画 平成29年度 施策方針書

政 策 : 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策 : 03 農林業の振興

施 策 : 03 産直等との連携による地産地消の推進

施策担当職・氏名 農林課長 関村 齊

1. 施策の実現状況を明らかにする

(1) 施策の内容

滝沢市は、盛岡市に隣接している地域となっております。
この特性を活かし、食育の推進や学校給食への供給などのほか、ICTを活用した産直のサービス向上や農商工連携・異業種連携による6次産業化、ブランド化などの付加価値を高め、交流拠点整備の活用による生産拡大と地産地消の拡大により、生産者が生き生きと働けるよう推進します。

(2) 施策目標値の達成状況

No	この施策に関わる施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値					目標値	進捗状況
		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	進捗率(%)	
1	暮らし 滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合 単位 %	47.6	48.1	48.3	48.3	48.5	49	-	
			45.5	0	-	-	-	0.0	
2	幸福 滝沢市に愛着がある市民の割合 単位 %	74.2	75	75.7	76.4	77	77.7	-	
			72.3	0	-	-	-	0.0	
	単位								

(3) 施策を構成する事務事業及び目標値の達成状況

No	事務事業名 事務事業目標指標	推移	平成27年度	平成28年度 (見込)	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	4年後
1	3387 グリーン・ツーリズム推進事業 グリーン・ツーリズム旅行者受入数 単位 人	目標値	4,400	2,000	2,050	2,050	2,050	2,050	0
		実績	14	200	-	-	-	-	-
	単位	目標値							
		実績							
	単位	目標値							
		実績							
	単位	目標値							
		実績							

前期基本計画 平成29年度 施策方針書

政 策 : 03 次代を担う若者が育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指します

基本施策 : 03 農林業の振興

施 策 : 03 産直等との連携による地産地消の推進

施策担当職・氏名 農林課長 関村 斉

2. 施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 施策目標の進捗状況分析

食の安心・安全は基本的なことであり、生産者が安全性に誇りと自信をもって消費者に提供できるよう、消費者は安心して地元の農産物を購入できる姿が望ましいと考えられます。これは生産の拡大や地産地消に結びつくものでありますから「滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合」を指標とし、進捗状況を分析するものです。

(2) 施策の実現に影響する社会環境変化

産直施設が各地に設置されるなか、交流拠点施設の整備に伴う新たな産直整備が予定されています。西瓜、サツマイモ、りんごなどの農産物のブランド化の推進と、次代を担う人材の育成に努め、安心・安全な農産物による地産地消を進めるとともに、差別化などによる新たな価値を創造し、競争力の高い農業をめざす必要があります。

(3) 基本施策との関連性

基本施策である農林業の振興のうち、農業分野に直接的に結びつきます。

3. 施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

地産地消推進事業とグリーン・ツーリズム推進事業は単独で実施する場合と複合的に実施する場合がありますし、作物の生育期間、参加者数、対象などが重要となります。そこで、各事業の実施時期や実施内容を事業参加者や農業者と調整し、より効果的に実施することとします。

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、平成29年度の重点課題

交流拠点整備を活用しての新たな産直整備が予定されており、その運営が重要である。そこで、既存の産直との連携を推進し、新たな産直施設の円滑な運営を図るためのシステムを構築する必要がある。

(3) 基本計画内方針及び平成29年度重点課題に基づく優先順位の考え方

新たに整備される産直、既存の産直での販売品目、数量、参加農業者を確保、誘引する必要があることから地産地消推進事業が優先されます。

